令和7年度　木祖村ふるさと納税報告書

ご寄附をいただいた皆様へ

このたびは全国各地の皆様から長野県木祖村へふるさと納税のご寄附を賜りまして誠にありがとうございました。村民を代表し、深く感謝申し上げます。

令和７年度は８０５名の皆様から１６，４１８，５００円のご寄附をいただき、平成２０年度の制度開始以来、総額で１７０，７４６，００８円となりました。お寄せいただきました貴重な寄附金は、木曽川源流の里木祖村らしい地域づくりに活用させていただきました。

今回、全国の皆様の御厚意によるふるさと納税寄附金がどのように使われているかご説明させていただきます。多くのご意見をお寄せいただき、皆様とともにむらづくりを進めていく所存でございますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和８年 10 月

木祖村長　奥原　秀一

令和７年度　寄附の状況

◆合計金額　　１６，４１８，５００円

◆寄附件数

個　　人　　８０５件

◆使途別内訳

使　　途	件数	金額（円）
① 魅力ある仕事の創造と魅力の発信	134	2, 645, 000
② 交流人口増大と移住・定住の拡大	34	500, 500
③ みんなでつくる、子育てしやすい環境と多世代交流	97	1, 437, 000
④ 健康で安心して暮らせる、元気な村づくり	63	961, 000
⑤ スキー場の維持と発展	127	4, 919, 500
⑥ その他、村づくり全般	351	5, 955, 500
計	806	16, 418, 500

※1 件のご寄附につき複数の使途を選択される方もいらっしゃるため、実際の寄附件数と使途別内訳の合計件数は一致しません。

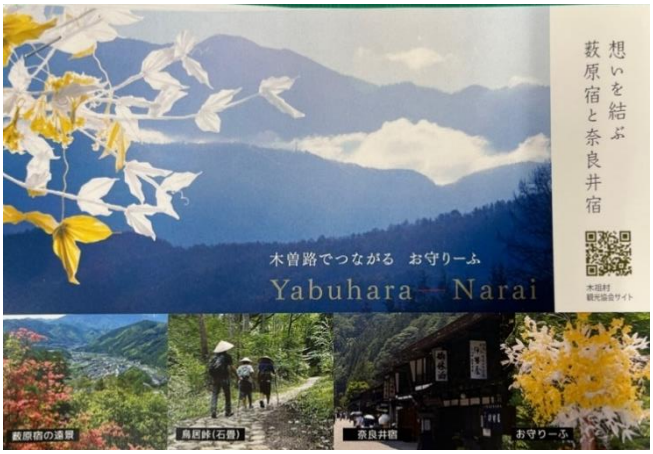
寄附の使途

下記の事業の一部に皆様からのご寄附を充当させていただきました。

◆魅力ある仕事の創造と魅力の発信

【源気くん型補助金、創業支援補助金、空き店舗等活用事業補助金　充当額：2,645,000 円】

源気くん型地域産業活性化補助金は、木祖村の地域資源を活用した新事業展開や新商品開発、担い手育成等に取り組む団体等を対象として、その事業に必要な経費に対し補助を行うものです。審査会を開催し、以下の２件の取り組みに対し補助を行いました。





分類	総事業額	交付額	事業概要
支援組織枠 10/10	388,514 円	353,000 円	**「お守りーふ」で“繋がり”を具現化し、地域資源を活用して木祖村内での観光消費額を増加させる事業** ・フォトスポットとして大暖簾を一新し、集客のため名前看板、案内標識を設置することで、木祖村の認知度や顧客満足度の向上を図る。
中小企業者 3/4	663,000 円	395,000 円	**施設全体における標識等の強化および改修事業** ・「お守りーふ」により薮原宿と奈良井宿を繋ぎ、地域の魅力向上、アップサイクルの実現を通して観光消費額の増加を目指す。
	交付額　計	748,000 円	

創業支援事業は、木祖村の産業の振興及び活性化を図ることを目的として、村内で創業する者に対し創業日前後の１年を超えない日までに要した創業に係る経費に対して補助を行うものです。

以下の３件の取り組みに対し補助を行いました。







分類	総事業額	交付額	事業概要
村外者	4,408,800 円	900,000 円	**飲食店の開業** ・昼は café、夜は Bar 感覚で地元の日本酒やワインが楽しめる。中山道鳥居峠を通る観光客の観光拠点として滞留を図る。
村外者	888,000 円	710,000 円	**音楽教室の開業** ・木祖村の自然豊かな環境で、音楽を通じて人々の楽しみや心身の健康を図る。
村内者	3,911,000 円	450,000 円	**飲食店の開業** ・夜の賑わい、地域住民の集いの場として、薮原宿の玄関口である駅前の活性化を図る。
	交付額　計	2,060,000 円	

空き店舗等活用事業補助金は、商業の振興及び活性化を図ることを目的として、空き店舗、空き家、空き倉庫を活用して行う事業に対して、その改修費を予算の範囲内で補助を行うものです。

以下１件の取り組みに対し補助を行いました。

分類	総事業額	交付額	事業概要
村内者	5,522,648 円	450,000 円	**飲食業** ・薮原宿の玄関口である駅前の活性化を図り、地域住民の集いの場となるため空き店舗等の改修を行うもの。
	交付額　計	450,000 円	

プレミアム商品券（源気くんドリーム商品券）事業は、物価高騰により落ち込んだ村内の消費を喚起することを目的として実施されました。令和７年度は１冊 12,000 円分相当の商品券を 10,000 円として、１世帯５冊を上限に 2,000 冊を準備しました。販売当日は 1,894 冊の購入があり、残りは翌日以降販売し、2,000 冊すべての購入がありました。必要とする多くの方に行き渡りました。

本事業に係る木祖村商工会に対する補助金		
項目	内訳	金額
プレミアム補助（2,000 冊分）	2,000 円×2,000 冊	4,000,000 円
商品券印刷分		1,000,000 円
集計作業賃金分		500,000 円
消耗品他雑費		500,000 円
計		6,000,000 円

◆交流人口増大と移住・定住の拡大

【木祖村空き家対策事業補助金　充当額：501,000 円】

　空き家の有効活用による定住人口の増加と老朽化した空き家による被害の発生を防止するため、空き家所有者等または利用者が行う空き家の片付け、改修、解体にかかる費用の補助を行いました。

	活用	改修	解体
概要	空き家バンクに登録するための荷物撤去や清掃等の補助	空き家バンクを通じて成立した物件の改修のための補助	建て替え以外の目的で住宅を解体するための補助
補助割合	4/5	1/2	4/5
補助上限	90,000 円	450,000 円	500,000 円
R7実績（件数）	1 件	2 件	1 件
R7実績（補助金額）	90,000 円	582,000 円	500,000 円

◆みんなでつくる、子育てしやすい環境と多世代交流

【木祖村放課後児童クラブ事業　充当額：237,000 円】

　放課後や長期休みの間、保育に欠ける児童を対象に小学校の空き教室で開所しています。

　30～40 名の児童が毎日利用しています。おやつを食べた後、宿題をしたり遊んだりして元気いっぱい過ごしています。





【保育所給食加工原材料費　充当額：500,000 円】

子ども達一人ひとりの体と心の成長を支え、毎日元気で楽しく過ごせるよう安全安心で栄養バランスのよいおいしい給食を栄養士はじめ給食室の先生皆さんで作っていただき、子ども達もすくすくと元気に成長しています。

時期になると、木祖村産のとうもろこしも食材として利用する等地産地消にも取り組んでいます。





【スマホ教室、デジタル寺子屋　充当額：700,000 円】

デジタル技術を活用した住みやすい村づくりを目的として、デジタル技術に不慣れな高齢者向けのスマホ教室や、幅広くデジタル化を学ぶためのデジタル寺子屋事業の開催をしました。

スマホ教室では、基本操作やカメラの使い方などの基礎から、SNS 利用などの応用まで段階的に学べる講座を実施し、年 16 回の開催で延べ 124 名の方にご参加いただきました。

また、デジタル寺子屋事業では、自由参加型の相談受付をはじめ、デジタル技術を活用した図工クラブ、AI 等のデジタルツール活用講座、自分専用のスマートフォン操作説明書作成教室など、様々な視点からデジタル化を体験・学習できる講座を開催しました。





◆健康で安心して暮らせる、元気な村づくり

【健康づくり事業　充当額：961,000 円】



地域住民の健康増進を目的とした健康づくり事業として、「木祖村スマホ健康アプリえってこ」の運営、「インターバル速歩教室」、「ノルディックウォーキング教室」をおこないました。

「健康アプリえってこ」は、令和２年度 11 月にリリースし、令和８年３月末現在、木祖村の方 292 名、木祖村以外の方 439 名に登録していただいています。このアプリでは歩数、歩行距離、消費カロリー、医療費抑制額を表示するほか、木祖村の風景写真を楽しみながら村内一周を疑似体験できる機能や、健康に関するメッセージや熱中症予測も表示されます。また、毎年ウォーキングラリー大会を開催しておりイベント期間は参加者の歩数が 2.5 割ほど増加するなど、村民の歩く意欲の増加と健康増進による医療費の削減に役立っています。



「インターバル速歩教室」は、専用高機能万歩計を使い体格に合わせた運動強度でインターバル速歩をおこなう教室です。教室内だけではなく参加者の日々のウォーキング意欲に役立っている他、参加前後の血糖やコレステロールなどの血液データの改善がみられています。



「ノルディックウォーキング教室」は、ノルディックポールを使うことで膝の負担を減らしつつ全身運動も行えるウォーキング教室で、令和７年度は４回開催されました。味噌川ダムや水木沢天然林、薮原宿散策など、木祖村の自然を感じつつ楽しくウォーキングすることができました。

◆スキー場の維持と発展

【観光施設整備基金：4,871,000 円】

観光施設整備に要する基金へ積み立てを行いました。この基金はスキー場等の施設の整備に活用されます。



◆村づくり事業全般

【学用品補助　充当額：2,000,000 円】

小・中学校保護者負担により購入していた、学用品（小学校：学習ドリル、楽器等教材。中学校：教科学習教材、実習材料等）の補助を令和７年度より実施し保護者負担の軽減を図りました。

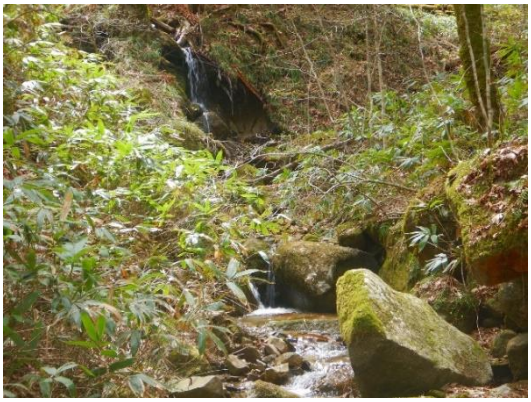
総事業費：2,486,315 円

【高等学校通学費補助：充当額：1,000,000 円】

村外へ通学している児童生徒の通学又は寄宿に要する保護者負担の軽減を図りました。

総事業費：1,360,000 円（68 名）

【郷土の森管理委託料　充当額：1,000,000 円】



郷土の森・水木沢天然林は木曽川の源流、水木沢地区に広がる天然林です。

木曽谷の代表的な樹種である木曽ヒノキ、サワラ、ネズコ、ブナ、トチノキ、サワグルミなどに亜高山性のウラモミジ、コメツガなど針・広葉樹が混生する貴重な森林資源です。林内の 98%が推定樹齢 200 年以上の天然林で、中でも樹齢約５５０年・直径 2.5m（胸高周囲 6.7m）の大サワラは圧巻です。

自然に触れるだけでなく、源流を気軽に体感できる場所である水木沢天然林の遊歩道やトイレを安全と環境に配慮して管理しています。

【幸せテラスまめのわ周辺緑地整備　充当額：1,748,000 円】

「幸せテラスまめのわ」は、令和３年３月に完成した福祉施設です。老若男女を問わず誰もが自然に集い、笑顔の絆を育むことで、「ずっと幸せ、年をとっても幸せな村」をつくることを目的としています。周囲には広々とした芝生エリアがあり、ドッグランやマレットゴルフなどを気軽に楽しむことができます。



このたび、さらなる環境づくりのため「まめのわ周辺緑地整備事業」を行いました。東側広場を子どもたちが安心して遊べる児童公園にするため、令和７年度は整地および転落防止柵の設置を完了しています。今後も具体的な整備内容を検討しながら、事業を進めていく予定です。

【木曽川源流村内一周駅伝大会　充当額：256,000 円】



木曽川源流村内一周駅伝大会は、例年 11 月３日文化の日に開催しております。半世紀以上続く村民総参加の伝統あるスポーツイベントです。

高齢化や人口減少に伴い参加者数は年々減ってきていますが、22 チーム、総勢 112 名の選手が参加し、吉田橋を出発した全チームがゴールの村民センターまでタスキを繋ぎました。